

# 平成22年度 事業報告書

## I 事業概要

平成22年度の事業活動として、地域の理解を得ながら地域とともに歩む原子力発電の普及啓発を目指し、関係機関と連携を図りながら各種広報資料の作成・配布、原子力関連資料の情報収集・公開、講演会、原子力施設見学会、子供写生大会等数多くの事業を実施するなど、幅広い年代層に原子力に関する理解と知識の普及・啓発に取り組んだ。

具体的には、佐田岬地域の観光振興と地域活性化に寄与するため、佐田岬メロディー駅伝競走大会を後援の立場で支援し、参加者には原子力広報資料(オリジナルフェスタオル)を作成・配布した。また、町内全戸に配布するカレンダーを作成し、日々の生活の中で広報できるよう工夫に努めたほか、「うちわ」の作成・配布などを通して各地区の夏祭り等、地域行事の支援に努めた。

さらに、原子力及びその平和利用に関する広報活動として、テレビ、ラジオ、松山市中心部における街頭ビジョン及び新聞広報等、マスメディアを活用した放送放映事業を拡充し、広く県民一般に対する広報活動に努めた。

また、平成20年12月1日から新公益法人制度が始まり、特例民法法人は、平成25年11月30日までの間に公益認定の申請又は認可の申請を行い公益法人制度改革三法に適合した法人経営をする必要がある。当法人は平成22年9月15日付けで申請を行い平成23年3月25日に認定を受け、平成23年4月1日から公益財団法人として新たにスタートすることになった。

## II 展示ホールの利用状況

### ○ 利用人数の推移

(単位：人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
開館総日数	335	342	338	341	345
見学者総数	1,811	1,825	1,828	2,000	2,359
前年度対比	77.3%	100.8%	100.2%	109.0%	117.9%
見学者累計	136,155	137,980	139,808	141,808	144,167

※ 設備の老朽化に伴い利用者数も低迷しているが、施設見学者の積極的な募集と広報活動、また昨年度から写生大会参加者の全作品を2ヶ月間ホールに展示、更に休館日である「文化の日」を中央公民館のイベントに併せて臨時開館するなどの工夫により、前年度より359名の増となった。また、映像機器「明日の佐田岬半島」「原子のめぐみ」、ビデオ設備「原子力情報BOX」などの修繕を行い、ホールの環境整備に努めた。

## III 事業

### 1 普及啓発事業

#### (1) 広報資料作成事業

##### ア 原子力施設子供写生大会

伊方ビジターズハウスとの共催により、青少年の原子力への関心を深めるため、伊方町及び旧保内町の小学生を対象に、伊方発電所の写生大会、工作教室を次のとおり実施した。

参加者からは、「とても楽しかった。来年も参加したい」「希望者が多いので伊方・八幡浜方面を別々に、出来るだけ全員が参加できるようにしてほしい」などの意見が寄せられた。

開催日時 平成22年 7月23日(金) 9:00～14:10  
開催場所 写生大会 伊方発電所構内(パノラマ館と荷揚岸壁)  
工作教室 伊方ビジターズハウス  
参加人数 87名  
表彰 入賞作品12点の表彰(学校長に表彰伝達依頼)を行った。

イ 一般向け広報資料の作成、配布

「オリジナルフェイスタオル」 600枚作成  
佐田岬メロディー駅伝競走大会参加者等に配布

ウ 広報用うちわの作成・配布

作成本数 5,000本  
配布 「きははいや伊方まつり」、「瀬戸の花嫁まつり」及び三崎地域夏祭り

エ 広報用メモ帳作成・配布

作成本数 5,000個  
配布 見学会等の参加者及びセンター来館者

(2) 原子力施設見学会の実施

見学会は、県・町受託事業を優先して実施し、自主事業は次の2回であった。

平成23年2月11日(金) 西予市皆田小学校5年生学P 30名  
平成23年2月20日(日) 宇和島市番城婦人会 31名

なお、全体での施設見学会は12回実施しており、その内訳は次のとおりである。

内 訳：県受託事業8回、町受託事業2回、自主事業2回

(3) 放送放映事業の実施

広く一般県民を対象として、次のとおり放送放映事業を実施した。

ア テレビ広報の実施

- ① CM素材(15秒)の制作 2本  
・「原子力の日・つながる篇」 南海放送サービス(株)制作  
・「電気予報土篇」 セーラー広告(株)制作

② CM放映の実施

素材 「竹取物語篇」  
機関 (財)八西地域総合情報センター  
期間 平成22年10月1日から平成22年12月31日  
1日4回(八西ニュースの番組放送時間帯)

イ ラジオ広報の実施

- ① CM素材(20秒)の制作 1本  
「なぞかけ篇」 セーラー広告(株)制作
- ② CM放送の実施  
素材 「なぞかけ篇」

機関及び放送回数 南海放送(株)：65回 (株)FM愛媛：26回

期 間 平成22年10月20日から平成22年10月26日

ウ 街頭ビジョン放映の実施

ステーションビジョン放映(松山市駅)

素 材 「竹取物語篇」「身近なエコで、まねきエコ。篇」

「原子力の日・つながる篇」「電気予報士篇」

機 関 (有)ケイ・アイ・システム

期 間 平成22年4月15日から平成23年1月11日

(4) 情報発信収集の実施

・インターネットによる情報発信・収集

原子力に関する情報発信・収集及び広報センターのPRを図るため、ホームページを随時更新しタイムリーな情報提供に努めた。

2 県受託事業

(1) 広報資料作成事業

ア 広報用リーフレット「えひめ原子力だより それいゆ」の発行、配布

内 容 環境放射線等調査結果、原子力関係情報、地域情報「温故知新 愛媛ニュースな旅ナビ!」ほか

発 行 年4回(7月、12月、2月、3月)発行 29,000部/回

配 布 先 県内市町及び関係機関 八幡浜市、伊方町は全戸配布

イ 広報用パンフレットの購入、配布

(種 類)	(購入部数)	(配布先)
「エネルギーABCブック」	1,000部	見学会参加者等
「原子力2010」	1,100部	講演会参加者等

ウ 広報資料の作成、配布

子供向け広報資料の作成、配布

原子力学習ノート・下敷きセット 1,250個作成

伊方町内保育園児、小・中学生全員に配布

エ 新聞折込広報の実施

原子力に関する正しい知識の普及・啓発及び行事案内、参加者募集を内容としたチラシの新聞折込広報を実施した。

作成部数 50,800枚

折込時期 平成22年 7月 原子力施設見学会参加者募集、啓発資料

平成22年11月 原子力講演会開催案内、啓発資料

折込新聞 愛媛、朝日、毎日、読売、産経の5紙

折込地域 伊方発電所周辺地域 3市1町

オ 新聞広告の実施

原子力発電の安全性、必要性等の啓発を内容とした新聞広告(5段カラー)を次のとお

り実施した。

掲載新聞	愛媛新聞
掲載時期	平成22年10月26日朝刊に掲載
掲載内容	「なぞかけ篇」 (原子力発電は、発電時にCO <sub>2</sub> を排出しない環境にやさしいエネルギーです。)

## (2) 原子力講演会の実施

原子力発電に関する理解促進を目的として、伊方発電所周辺地域3市1町の一般住民を対象に次のとおり原子力講演会を実施した。

参加者からは、「話題となっているプルサーマルの必要性が大変理解できました」「地震の発生要因、建物被害の原因等に基づき、原子力発電所の耐震安全性について分かりやすく説明していただき、よく理解できました」などの意見が寄せられた。

開催日時	平成22年11月12日(金)	13:30から16:30まで
開催場所	伊方町生涯学習センター5階	多目的ホール
参加者	103名	
講演Ⅰ部	演題	「原子力発電と核燃料サイクルについて」
	講師	元原子力委員会参与 中神 靖雄
講演Ⅱ部	演題	「伊方発電所の耐震安全性について」
	講師	愛媛大学大学院理工学研究科准教授 森 伸一郎

## (3) 原子力施設見学会の実施

伊方発電所周辺3市1町の一般住民並びに各団体を対象として、伊方発電所、伊方ビジュアルハウス、愛媛県原子力センター、愛媛県オフサイトセンター、四国電力(株)原子力保安研修所、愛媛県伊方原子力広報センター等の施設見学会を次のとおり実施した。

参加者からは、「3Dシアターや模型等、楽しく理解できて良かった。発電所内部に入れなかったのは少し残念ですが、初めて敷地内に入って見学できて良かった。また来たいです」「普段は入れない施設の見学など貴重な体験ができて良かった。子供にとっても夏休みの良い思い出になったと思います」「保内の原子力センターでは、放射線を測っていることが分かりました」「保安研修所のシミュレーターを使って操作体験できたことが良かった」などの意見が寄せられた。

一般見学会	4回	参加人数	279名
団体見学会	4回	参加人数	127名

## (4) テレビ広報の実施

### ① テレビ番組(15分)放送

素 材 「坊っちゃん先生のエネルギー日記」

機関及び期間

南海放送(株)	平成22年10月21日	10:55~11:10
(株)テレビ愛媛	平成22年10月20日	15:30~15:45

(株)あいテレビ 平成22年10月26日 9:55～10:10

(株)愛媛朝日テレビ 平成22年10月23日 7:30～7:45

② テレビCM(15秒)放送

素 材 「原子力の日・つながる篇」

期 間 平成22年10月20日から平成22年10月26日

回 数 各テレビ局 特Bタイム5回

機 関 南海放送(株)、(株)テレビ愛媛、(株)あいテレビ、(株)愛媛朝日テレビ

③ 八西CATV番組放送

素 材 「坊っちゃん先生のエネルギー日記」 6月から2月

期 間 平成22年6月12日から平成23年2月26日までの第2・4土曜日  
(10月については毎週土曜日)

八西ニュース放送後 14分/回 2回/日

機 関 (財)八西地域総合情報センター

④ 八西CATVCM(15秒)放送

期間及び素材

平成22年 4月20日から平成22年 9月30日「うたうチューリップ篇」

平成22年10月 1日から平成22年10月26日「原子力の日・つながる篇」

平成22年10月27日から平成23年 3月19日「電気予報土篇」

回 数 4回/日(八西ニュースの時間帯)

機 関 (財)八西地域総合情報センター

⑤ テレビ番組表広告の実施

八西CATVでの番組放送を周知するため、平成22年6月から平成23年2月までの  
月次番組表に掲載、広告した。

⑥ 街頭ビジョン放映

- ・ ストリートビジョンネットワーク放映(松山市)

期間及び素材 平成22年5月1日から平成22年5月14日

「対局篇」

平成22年10月13日から平成22年10月26日

「原子力の日・つながる篇」

機 関 (有)ケイ・アイ・システム

回 数 56回/日

(5) 情報発信収集の実施

- ・ インターネットによる情報収集

展示ホールのインターネットを来館者に無料開放した。

利用延べ人数 28名

### 3 町受託事業

#### (1) 広報資料の作成

原子力発電に関する知識の普及・啓発を行なうため、次年版カレンダーを作成、配布した。

題 材 「懐かしい時代、手仕事の伝言。」、エネルギーミニコラム  
子供写生大会入賞作品12点  
作成部数 5,800部  
配 布 先 伊方町内全戸、町内公共施設、関係機関等

#### (2) 伊方町原子力広報用ビデオ制作

ビデオ素材(15分) 製作 1本  
・「みさきファミリーのいかた案内」 (株)あいコミュニケーションズ制作

#### (3) 原子力施設見学会の実施

団体見学会を2回計画し次のとおり実施した。

平成22年 9月 8日(水) 伊方町 町見老人大学 38名

平成22年10月27日(水) 伊方町 いかた学童クラブ 35名

#### (4) 閲覧資料整備

新聞7紙を購入し、原子力関連記事の収集とデータベース化により整備しこれを公開した。

平成22年度 原子力関連新聞記事の収集件数

新聞名	件数	新聞名	件数
朝日新聞	540	愛媛新聞	840
毎日新聞	527		
読売新聞	661		
産経新聞	475		
日本経済新聞	596		
日刊工業新聞	278	合計	3,917

#### (5) テレビ広報の実施

##### ① 八西CATVCM放映

素 材 「身近なエコで、まねきエコ篇」  
期 間 平成22年5月1日から平成22年12月31日(8ヶ月) 4回/日  
機 関 (財)八西地域総合情報センター